

鴨池校区コミュニティ協議会

第2期 鴨池校区コミュニティプラン (令和7年度～11年度)



～ スローガン ～

みとめあい、かかわりあい、ささえあう町 鴨池
～ 地域のみんなど一心団結 ふるさとかもいけ ～

～ まちづくりの指針 ～

鴨池校区の今と未来を守る

目 次

1	策定のねらい	・・・ 1
2	スローガンと運営方針	・・・ 1
3	校区の概要	・・・ 2
	(1) 校区の位置	・・・ 2
	(2) 校区周辺の変遷	・・・ 3
	(3) 主な施設や環境	・・・ 4
	(4) 校区（まち歩き）マップ	・・・ 8
	(5) 校区の人口	・・・ 10
4	第1期の振り返りと過大解決に向けた取り組み	・・・ 12
5	コミュニティ協議会の運営組織	・・・ 13
6	コミュニティ協議会の活動の体系	・・・ 14
7	コミュニティ協議会の活動計画	・・・ 15

< 資 料 >

1	第1回プラン策定に対するアンケート結果	・・・ 19
2	策定までの経過	・・・ 24
3	地域コミュニティプラン策定委員会	・・・ 24
4	鴨池校区コミュニティ協議会ホームページのご紹介	・・・ 25

1 策定のねらい

第1期(令和2年～令和6年)がこの3月で終了し、4月からは第2期の鴨池校区コミュニティプランがスタートします。

当協議会のスローガン"みとめあい、かかわりあい、ささえあう町 鴨池"を掲げて活動してまいりました。

コミュニティ活動の充実や地域のあり様を再検討する。そして活動の活性化や連携を促進させ、心が充分に通い、支え合う住民が住みやすい校区を目指すものでした。

1期を終えスローガン通りに実践出来たかを実証する必要がありました。

各部会、各委員会が総力を挙げ意見を出し合い何とか皆様に胸を張って出せるものが出来上がりました。令和11年迄の5年間、このプランにて進みます。

さて、われら鴨池校区は戦後すぐに誕生した区域で75年の歴史を誇ります。人口は残念ながら減少気味で現在は10,500人となっています。そして高齢化が進み高齢化率が鹿児島市平均を上回っているのが現状です。

そこで若い方の流入を切に祈るばかりですが、不動産関係や若き企業者等に働きかけ、若人へ鴨池への導線を引ければと思っています。

幸いな事に当地区は文教地域であり医療機関は充実しており物販店も数多く交通の便も非常に良い所です。

上記を大きな武器として若人の流入が図れればと思います。

人と人との交流を深め住んでみて良かったと感じるその様な町づくりを目指していきたいものです。

どうか校区の皆様にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和7年3月



鴨池校区コミュニティ協議会
会長代行 中園 賢一

2 スローガンと運営方針

第1期に引き続き、当協議会はスローガンに

みとめあい、かかわりあい、ささえあう町 鴨池
～地域の人々と一心団結 ふるさと かもいけ～

を掲げて活動してまいります。

運営方針（まちづくりの4つのキーワード）

住民の 主体性を醸成

一人ひとりが主体になって
まちづくりに参加したくなる
ような環境をつくる

組織の拡大と 活性化

より多くの住民や団体と
一緒にまちづくりが出来る
よう呼びかける

相互理解の 促進

参加する住民や団体
それぞれの考え方や
活動を知り理解を深める

連携協力の 推進

お互いの接点を探し
何が出来るか考え
活動する

4つのキーワードをより具体的に進めていくために、以下を設置し活動していきます。

7つの専門部会

まちづくり部会 広報部会
安心安全部会 福祉部会
社会教育部会 外部連携部会
青少年育成部会

5つの委員会

緊急時対策委員会
青少年育成実行委員会
夢プロジェクト実行委員会
福祉研修委員会
プラン策定委員会

3つの世代別 コミュニティ

第2期プランより新設
子育て世代コミュニティ
責任世代コミュニティ
シニア世代コミュニティ

期待する
成果

コミュニティ協議会が目指す街の理想像

住民一人ひとりが持つ豊かな個性を
尊重し、お互いを認め合い、お互いに
関わり合い支え合いながら、多様性を
重視する世の中にマッチした文化的な
街を、鴨池校区は目指していきます。

3 校区の概要

(1) 校区の位置

鴨池校区は、鹿児島市の中部、新川の下流域に位置し、東側に鹿児島湾、北側には下荒田、与次郎地区の八幡校区、西側に中郡校区、南側に南小校区が隣接しています。

鹿児島市



■ 鴨池校区(航空写真)



(2) 校区周辺の変遷

江戸時代、校区の東側には、海岸線が広がり松林におおわれていたようで、塩田地帯でもあったようです。また西側は島津家の別荘があり鴨池（鴨が飛んでくる所）というように風光明媚な校区だったようです。昭和13年（1938年）、校区の東海岸は、海軍飛行場建設のための埋め立てにより、その様子を大きく変えました。

戦後、終戦のため各地からの引揚者が定住地として居住区が形成され郡元町として発展してきました。

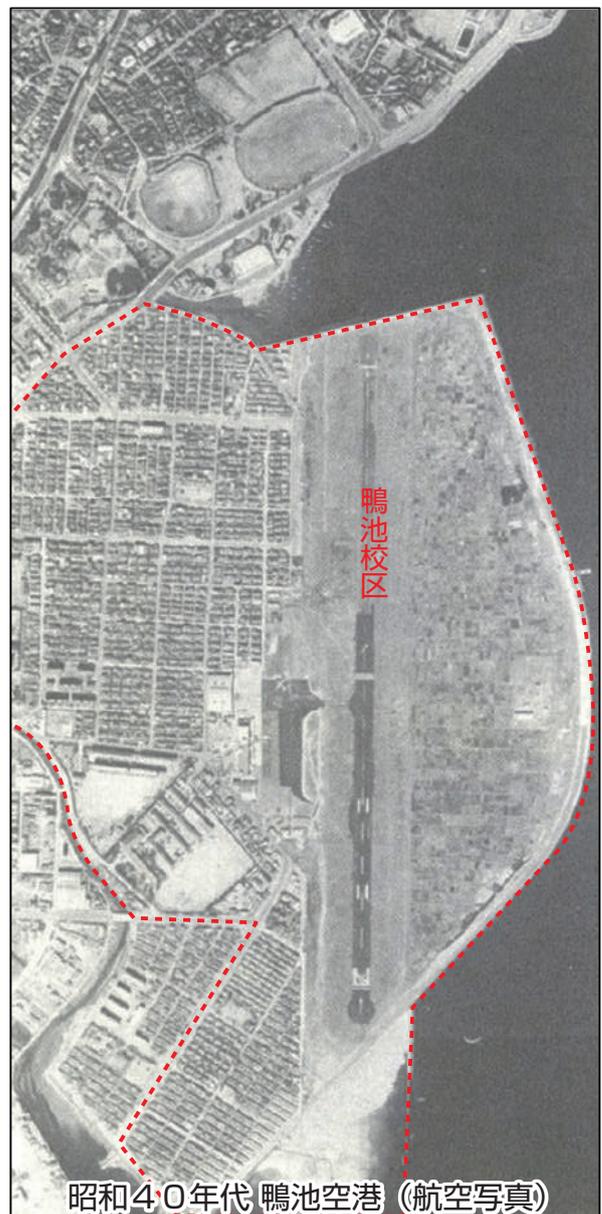
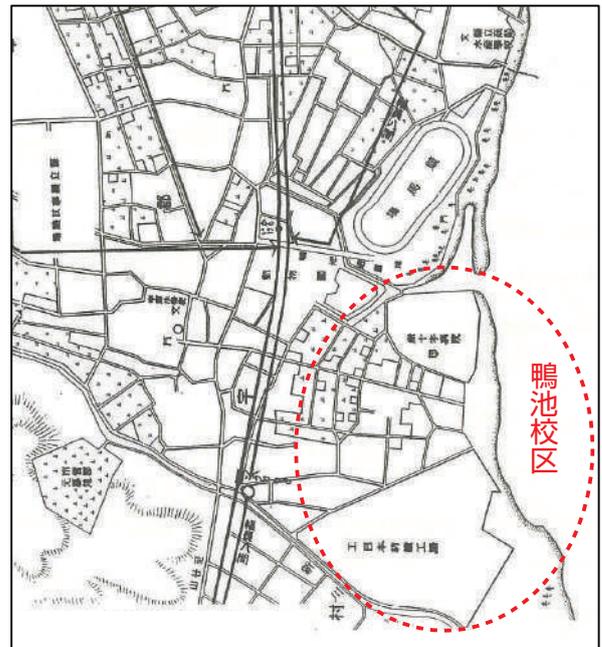
昭和22年（1947年）、鴨池中学校は鹿児島市立第九中学校として開校しています。2年後の昭和24年に新制中学として、校名が現在の鴨池中学校となったそうです。

現在の鴨池小学校校区としては、真砂町、真砂本町、鴨池新町からなりますが、真砂町は、昭和25（1950年）年、郡元町の一部から分割成立しています。昨年（2019年）、創立70周年を迎えた鴨池小学校が中郡小から分離し開校したのもその年です。

その後、昭和44年（1969年）に一部が、真砂本町、三和町に分割成立しています。

海軍飛行場跡は、その後、鹿児島空港として使われ、昭和47年（1972年）に霧島市へ移転するまでは鹿児島の空の玄関口でありました。この頃はまた、鴨池公民館周辺は海岸線が広がっており、遠足や海水浴場として使われていたということです。空港のターミナルビルがあったところは、現在あるニシムタスカイマーケット鴨池店の場所に位置しています。

空港の跡地は、鴨池新町となり、住宅地として開発されるとともに、平成8年（1996年）に鹿児島県庁や鹿児島県警察本部が移転してきて、行政の中核地として発展してきています。また、「鴨池・垂水フェリー」が発着し、大隅半島の玄関口としての機能を有しています。



(3)主な施設や環境

保育・教育施設

なぎさ保育園



地図No. 1

真砂保育園



地図No. 2

やなぎの保育園



地図No. 3

太陽の子幼稚園



地図No. 4

鴨池しらうめ幼稚園



地図No. 5

鴨池小学校(避難所)



地図No. 6

鴨池校区公民館



鴨池校区コミュニティ協議会事務局

鴨池中学校(避難所)



地図No. 7

福祉施設

真砂福祉館(避難所)



地図No. 8

鹿児島市心身障害者総合福祉センター
(ゆうあい館)



地図No. 9

行政施設

県庁



地図No. 10

鹿児島県警



地図No. 11

鹿児島県議会



地図No. 12

鹿児島市水道局



地図No. 13

医療施設

今村総合病院



地図No. 14

大勝病院



地図No. 15

公共性のある施設

日本赤十字社鹿児島県支部



地図No. 16

献血センター



地図No. 17

公園・スポーツ施設

真砂本町公園



地図No. 18

真砂公園



地図No. 19

鴨池緑地球技場



地図No. 20

交通拠点

垂水航路



地図No. 21

商店街(鴨池商店街振興会)

真砂通り会



地図No. 22

真砂本町大店会



地図No. 23

鴨池ハイム商店街



地図No. 24

ニシムタスカイマーケット鴨池店



地図No. 25

カモンス (旧 鴨池新町8番街通り会)



地図No. 26

(4) 校区(まち歩き)マップ

鴨池の始まり～鴨の集まる池～

江戸時代、現在の鴨池(旧イオン鹿児島鴨池店あたり)に黒木屋敷という薩摩藩家老の別荘がありました。邸内には大池がありました。

冬になるとたくさんの鴨がやってきて鴨狩りが楽しめました。昼時には獲物を鉄板で食べていました。

その後、黒木屋敷を島津家第29代忠義が譲り受け、ここで鴨猟を行いました。そのため「鴨池」と呼ばれるようになりました。

一説によると鴨池の鴨猟が日本で最初だったとか。



③ 昔この辺りは海岸で学校やPTAでは海水浴に来ていました(昭27)

動物園や海水浴場の思い出

動物園へは土手の上に市電の電停がありました。鯨の剥製もあり、夜には動物の鳴き声が聞こえました。

博覧会が開催され、みんなで象を迎える歌を歌いました。

池ではボート、釣り、ウォータシュートが、海水浴場では、海水浴はもちろん、貝掘りや花火大会を楽しみました。

鹿児島大学の水産学部が隣接していました。

サナトリウム(結核治療院) 海浜院跡

海浜院とは、明治38年(1905年)鴨池に設立したサナトリウム(結核治療院)。

当時、オゾンをたくさん含んだ海岸地帯に専門の安静所を建てようと3年がかりで完成。その広さは、約33,000㎡(約1万坪)にも及び、鹿児島名物の一つになりました。また、そのパノラマ模型は、万国博覧会で、特別賞を受けたといわれています。大正12(1923年)、日本赤十字社がこの病院を引き継ぎましたが、現在は平川に移転しています。



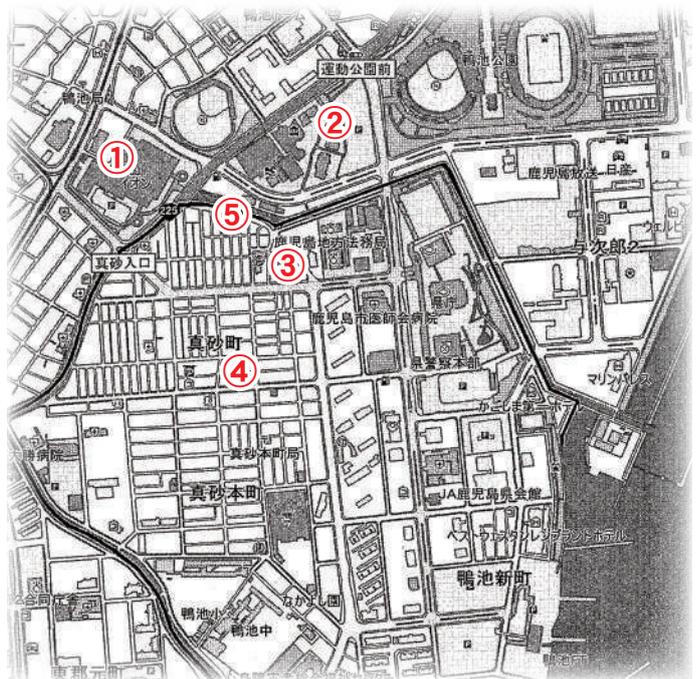
① 鴨池の碑(動物園跡地)



② 貴様と俺の碑



⑤ 鴨池川河口から桜島を望む



④ 海浜院跡地碑
(赤十字病院跡)

工業地帯としても鹿児島島の先駆け

江戸後期から昭和初期まで紡績所がありました。紡績所はもともと島津藩が船の帆を自国で作ることが目的で作られました。1000人以上が働いていた紡績所は鹿児島県内で一番の工業地域だったそうです。

碑文には島津斉彬の名あり、中郡宇村の記述があります。



⑥ 製綿紡績工場跡

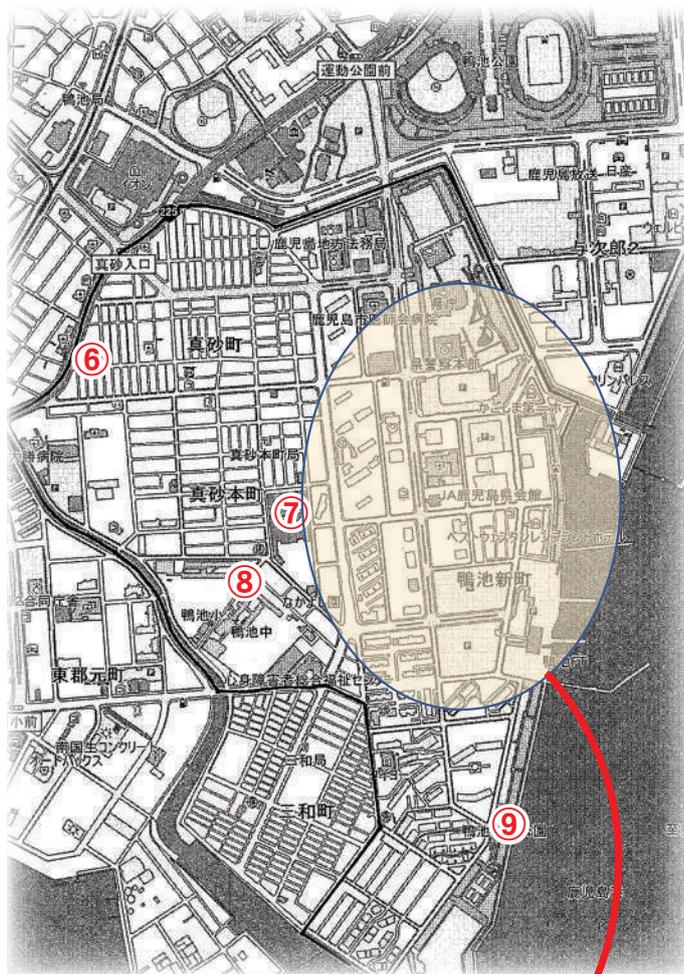
空の玄関口 鴨池空港



⑦ 旧空港ビル（現 ニシムタスカイマーケット鴨池店）

鴨池空港は、1957年7月、鹿児島空港（通称・鴨池空港）、第二種空港として開港。当初は、滑走路1,080m。1967年3月、滑走1,600mに延長。1972年3月、現在の霧島市に移転のため旧空港廃止となりました。

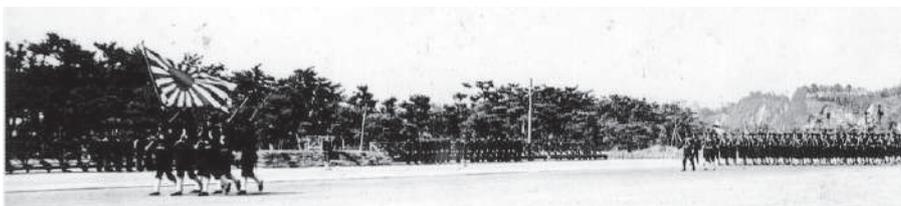
旧空港の跡地は日本住宅公団により鴨池ニュータウンとして開発され、1996年には県庁や県警本部がこの一角に移転してきました。



鴨池空港の風景

市営飛行場から海軍鹿児島基地へ

鴨池校区は、昭和の戦争の記憶も残しています。



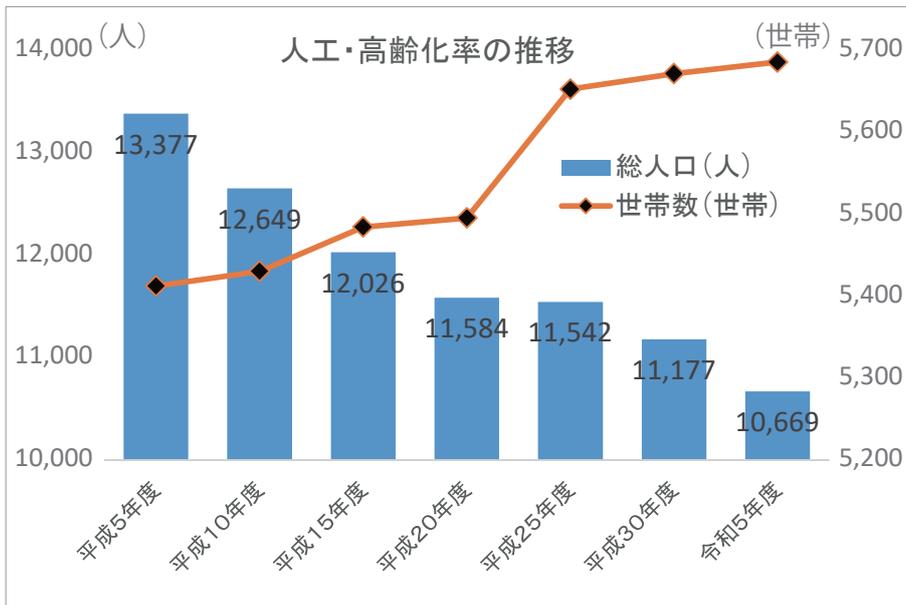
⑨ 「赤心(まごころ)の碑」
海軍航空隊の碑



⑧ 海軍航空跡地碑

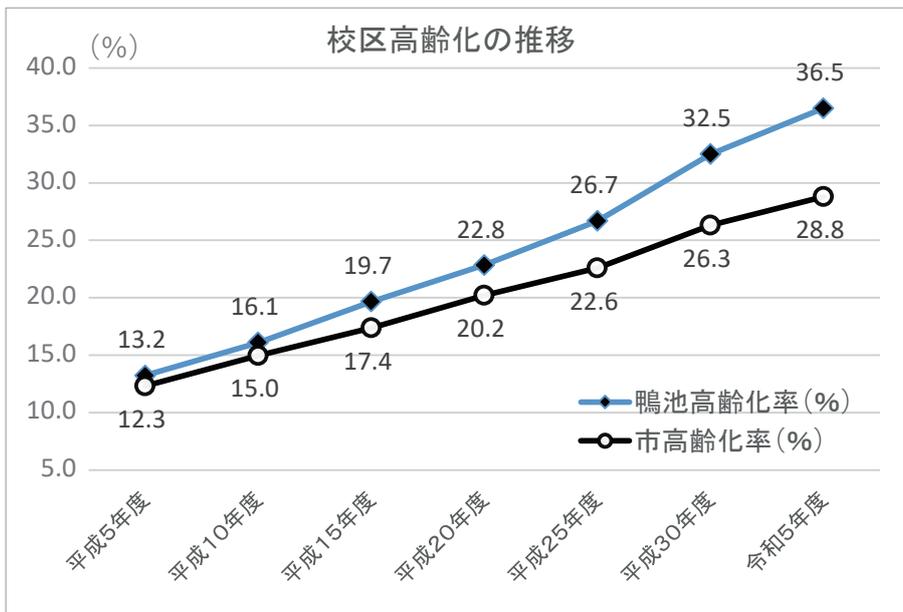
海軍隊沿革	1932年	鹿児島市鴨池地区に鹿児島市営水陸両用飛行場建設。
	1937年	海軍鹿児島基地として使用。特別攻撃隊の基点としては鹿屋と知覧が著名であるが、本飛行場も使用された。
	1943年	4月1日、鹿児島空開隊
	1945年	空襲により基地機能消失

(5) 校区の人口



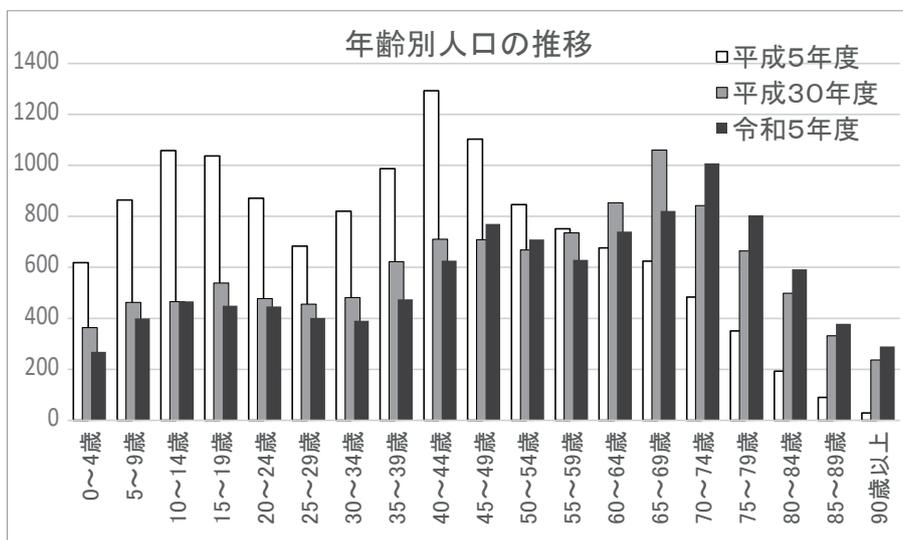
校区の人口を鹿児島市の推計人口から見てみると、校区の実態が見えてきます。

平成5年度から令和5年度までの人口の推移は、平成5年度に1万3千人を越えていた人口は令和5年度には約1万6百人と約2千6百人の減少であり、今後もこの傾向は続くと見られます。



しかしながら、世帯数は増加の傾向にあり、アパートやマンションの立地と関係があるのではないかと推測されます。

平成5年度から令和5年度までの年齢別人口の推移をみてみると、若い年齢層(特に小・中・高校生)の減少が大きくなっています。反対に70歳以上の年齢層が増えている傾向にあります。また、校区の高齢化率からみても、地域の少子高齢化が進んでいるのが分かります。



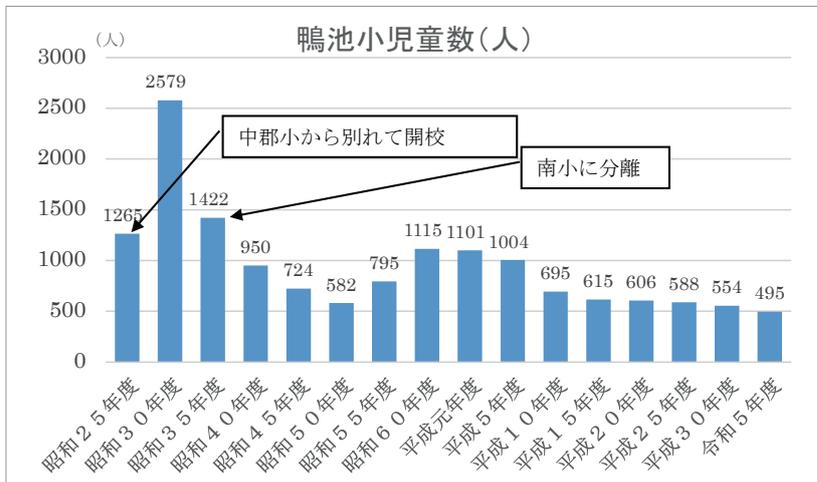
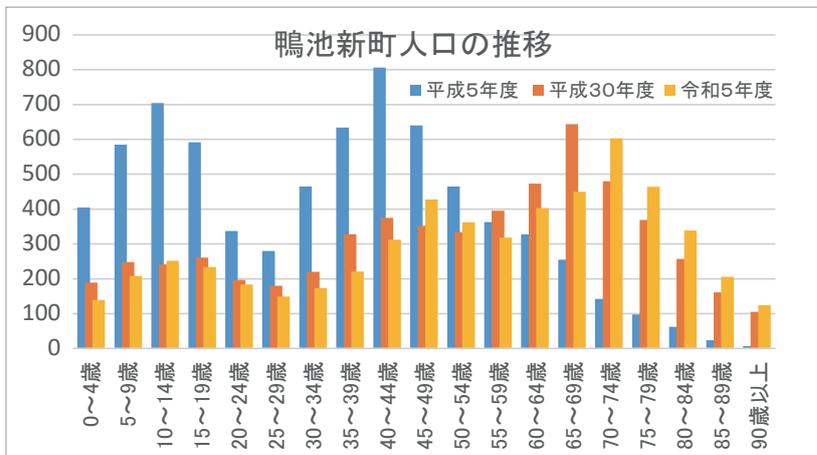
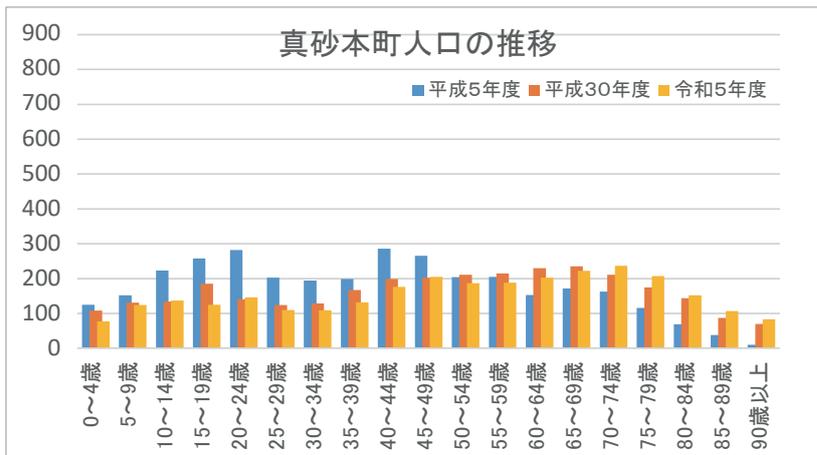
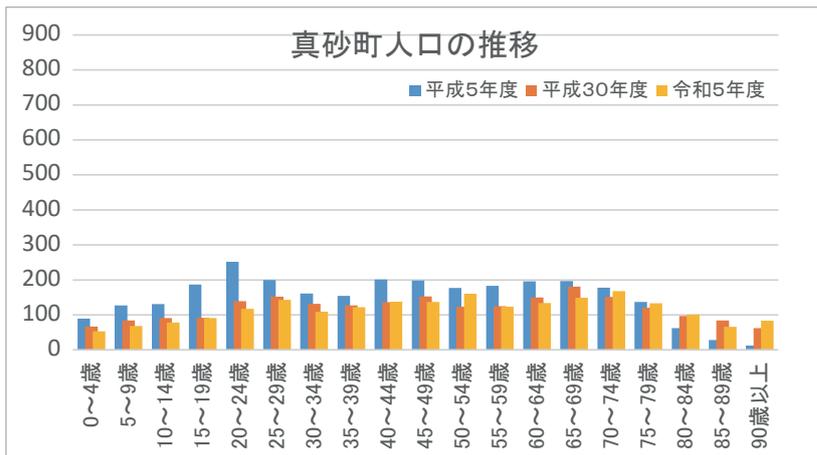
校区は、真砂町、真砂新町、鴨池新町の3つの町で構成されています。住宅地として栄えてきた真砂・真砂本町、空港跡地に新しくできた鴨池新町とその経緯はそれぞれです。

真砂町、真砂本町は、全体的には年齢別人口の減少は見られますが、幅広い年齢層の人口があり、比較的バランスが良いです。

しかしながら、鴨池新町は70歳代からの年齢層の増加が見られ、少子高齢化が進むと見られます。

鴨池新町は、ニュータウンとして開発され人口も増えたところで、若年層の減少と高齢者層の増加が顕著であり、地域としても様々な対応が必要になってくると思われます。

一方、鴨池小の児童数は昭和30年度のピーク後減少傾向にはあるが、現在は500人前後で推移しています。



4 第1期の振り返りと課題解決に向けた取り組み

第1期コミュニティプランの運営方針

第1期（令和2年度～令和6年度）の鴨池校区コミュニティプランで提示した運営方針は以下の6項目でした。

- ①住民みんなが主体的に（自助）に取り組むまちづくり
- ②文化的で豊かな個性のまちづくり
- ③構成団体と連携・協力（共助）するまちづくり
- ④町内会 100% 加入のまちづくり
- ⑤プラン（地域振興計画）を基にしたまちづくり
- ⑥相互理解（絆）を深めるまちづくり

第1期で見えてきた現状と課題

○=良かった点 ●=改善すべき点

- 主体的に動く住民が増えて、各事業とも成果は出てきている
- まちづくりに積極的な住民と、そうでない住民に温度差がある
- 構成団体間の連携は深まったが、連携できてない団体もある
- 世代間の相互理解はまだまだ必要
- 地域振興の担い手の世代交代があまり進んでいない

課題解決のためには？

各世代が参加しやすい雰囲気づくりを第一に考え、以下の取り組みを推進します。

★1つめのステップ（世代別コミュニティの強化）

- ・価値観が近い世代ごとの親交を深める
- ・それぞれが感じている地域の課題を共有する
- ・自分たちが主体になって実行できる解決策を考える

★2つめのステップ（世代間交流と協力の推進）

- ・各世代で行っている事業についてお互いに理解を深める
- ・それぞれの世代ができることの接点を探す
- ・各世代単体で解決できない課題の解決に取り組む

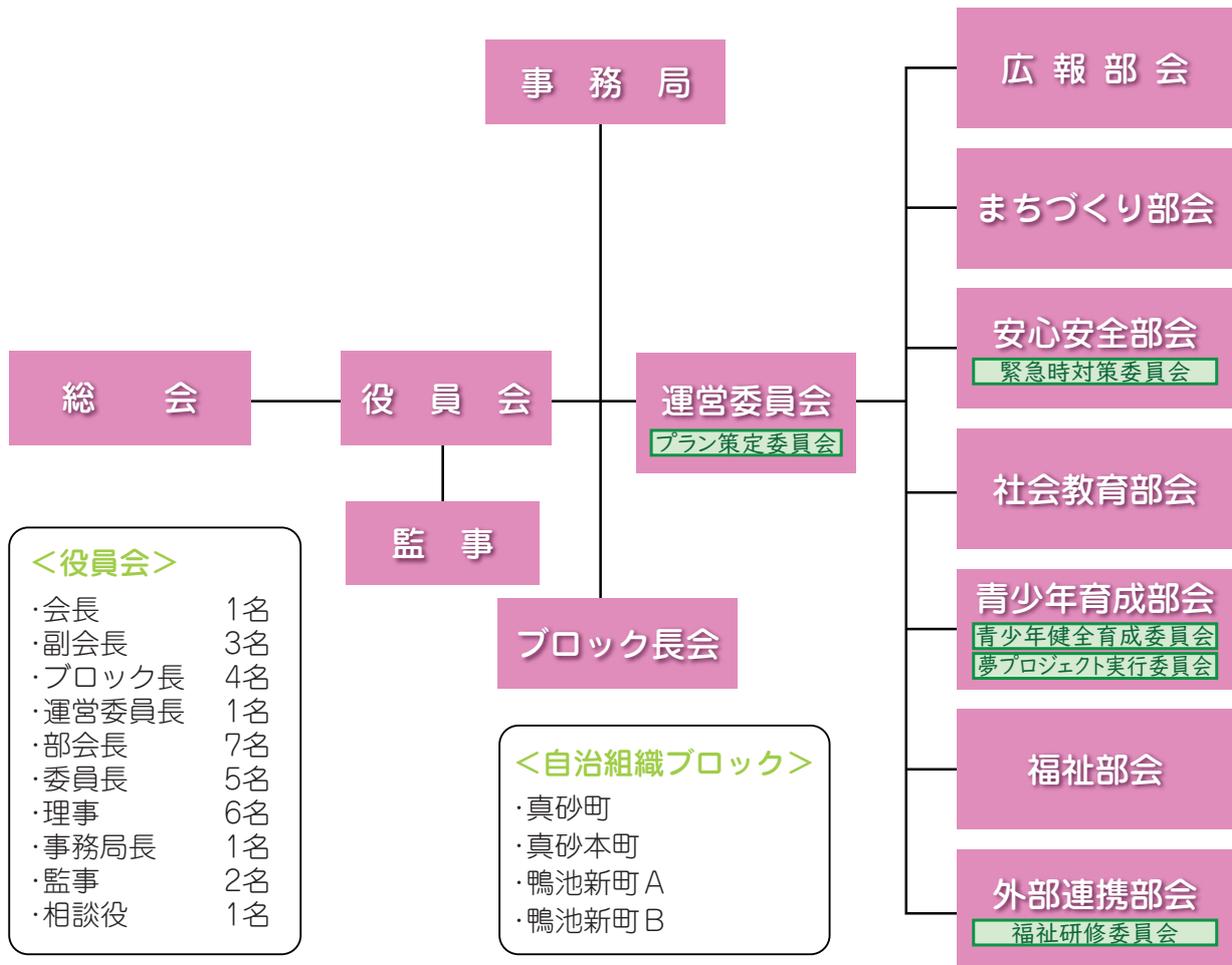
5

コミュニティ協議会の運営組織

まちづくりのスローガン(目標)

● みとめあい、かかわりあい、ささえあう町 鴨池 ●

～ 地域の人々と一心団結 ふるさと かもいけ ～



協議会の構成団体

- まさと振興会
- 真砂町内会連絡協議会(5町内会)
- 真砂本町社会福祉町内会
- 労任管理組合
- 鴨池新町各管理組合(町内会)
- 鴨池小学校
- 鴨池小学校PTA
- 鴨池小学校力の会
- 鴨池小学校家庭教育学級
- 鴨池中学校
- 鴨池中学校PTA
- 鴨池中学校父親セミナー
- 鴨池中学校同窓会
- 成人学級(マナヴェール)
- 女性学級(フティエコール)
- デイスカバー鴨池
- 鴨池老人クラブ
- 真砂消防分団
- 南消防分団
- 鴨池・南パトロール隊
- 鴨池校区あいご会連絡協議会
- 鴨池スポーツ少年団
- 一般社団法人 鹿児島島YMCA
- 鹿児島ユニテッドFC
- 学校支援ボランティア
- 鴨池校区社会福祉協議会
- 民生児童委員連絡協議会
- 真砂福祉館
- 児童クラブ
- 鴨池校区内幼稚園
- 鴨池校区内保育園
- 鴨池商店街振興会
- みんサポかもいけ
- パートナシップ団体
- 日本赤十字社鹿児島支部
- 赤十字血液センター
- 慈愛会 今村総合病院

6

コミュニティ協議会の活動の体系

目標	運営方針	部会	基本方針
みとめあい、かかわりあい、ささえあう町鴨池 （地域のみんなと一心団結ふるさとかもいけ）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 住民の主体性を醸成 一人ひとりが主体になってまちづくりに参加したくなるような環境をつくる </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 組織の拡大と活性化 より多くの住民や団体と一緒にまちづくりが出来るよう呼びかける </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 相互理解の促進 参加する住民や団体それぞれの考え方や活動を知り理解を深める </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 連携協力の推進 お互いの接点を探し何が出来るかを考え活動する </div> <div style="text-align: center; font-size: 2em; margin-bottom: 10px;">↓</div> <p>住民一人ひとりが持つ豊かな個性を尊重し、お互いを認め合い、お互いに関わり合い支え合いながら、多様性を重視する世の中にマッチした文化的な街を、鴨池校区は目指していきます。</p>	広報部会	地域の情報を共有し各部会の活動を深く理解できる環境をつくる
		まちづくり部会	地域住民の自助共助による活力あるまちをつくる
		安心安全部会	地域住民みんなが安心して暮らせるまちをつくる <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">緊急時対策委員会</div>
		社会教育部会	地域住民みんなが集い学ぶ楽しさを実感できるまちをつくる
		青少年育成部会	地域全体で子どもたちの成長を見守るまちをつくる <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">青少年健全育成委員会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">夢プロジェクト実行委員会</div>
		福祉部会	地域住民みんなが思いやりで支え合えるまちをつくる
		外部連携部会	近隣の団体と連携し当会がより活動しやすい環境をつくる <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">福祉研修委員会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;">プラン策定委員会</div>

7

コミュニティ協議会の活動計画

横軸(各部会別)の活動計画

広報部会

○ = 実施 △ = 実施を検討 ― = 実施せず

番号	事業名	実施時間	事業内容 (期待される効果を一部含む)	1期 当初 計画	1期 実施 状況	2期 当初 計画	2期 実施 状況	備考
1	地域情報誌 LL かもいけ発行	通年	毎月の情報を発信する	○	○	○	○	
2	ホームページ運営	通年	リアルタイムの情報発信を行う	○	○	○	○	
3	FM ぎんが まちづくり情報局制作	通年	ラジオ放送で多くの対象者に 情報を届ける	○	△	―	―	鴨池商店街振興会提供 放送終了
4	インターネット勉強会	通年	情報受信環境について啓発を 行い理解を深める	○	○	○	○	

まちづくり部会

○ = 実施 △ = 実施を検討 ― = 実施せず

番号	事業名	実施時間	事業内容 (期待される効果を一部含む)	1期 当初 計画	1期 実施 状況	2期 当初 計画	2期 実施 状況	備考
5	スポレク大会 (校区運動会)	未定	地域住民の健康を増進する	○	○	△	△	第2期内で開催の是非 および 実施内容を再検討
6	鴨池校区夏祭り／秋祭り	随時	地域住民の健康を増進する	○	△	△	△	実行委員会を立ち上げて 年度毎に協議 夏の猛暑が続いている ため祭りの時期は要再考
7	餅つき大会	12月	地域住民の健康を増進する	○	○	○	○	実行委員会を立ち上げて 年度毎に協議
8	駅伝大会(走り初め大会)	1月	地域住民の健康を増進する	○	○	○	○	鴨池商店街振興会と連携
9	鴨カムサタデー (地域食堂)	毎月	地域住民の交流を推進する	―	○	○	○	
10	花植え/ イルミネーション	年数回	地域に彩りを添え、住みよい まちづくりを推進する	○	○	○	○	商店街振興会との 共同事業

安心安全部会

○ = 実施 △ = 実施を検討 ― = 実施せず

番号	事業名	実施時間	事業内容 (期待される効果を一部含む)	1期 当初 計画	1期 実施 状況	2期 当初 計画	2期 実施 状況	備考
11	各種パトロール/ 児童見守り活動	随時	地域の安心安全を守る	○	○	○	○	青色パトロールは継続/ サイクルパトロールは休止中 PTAと連携した児童見 守り活動を開始予定
12	交通安全パレード	通年	校区民の交通安全に対する 重要性の認識を深める	○	△	―	―	第1期途中で休止
13	防災訓練企画運営	―	災害に対する意識を深める	○	○	○	○	社会教育部会と 連携して事業企画
14	緊急時対策委員会	年数回	赤十字社等各種構成団体間の 連携と相互理解を深める	○	○	○	○	これまで検討してきた 災害時の対応に加え 高齢者行方不明時など 日常の対応も併せて協議する

社会教育部会

○ = 実施 △ = 実施を検討 ― = 実施せず

番号	事業名	実施時間	事業内容 (期待される効果を一部含む)	1期 当初 計画	1期 実施 状況	2期 当初 計画	2期 実施 状況	備考
15	成人学級/女性学級 家庭教育学級/ 父親セミナー	各年数回	社会教育学習により地域力を 高める	○	○	○	○	これまでの活動に加えて 大人の社会科見学、バス ツアー等を検討
16	地域文化活動補助事業	各年数回	地域住民による文化的活動の 支援を行う	―	―	○	○	カモカル音楽隊の演奏会 企画等 子どもたちによる地域 活動の発表の場を創出
17	校区文化祭	2月	社会教育学習発表の場を作り 社会教育の活性化を促す	○	○	○	○	

青少年育成部会

○ = 実施 △ = 実施を検討 ― = 実施せず

番号	事業名	実施時間	事業内容 (期待される効果を一部含む)	1期 当初 計画	1期 実施 状況	2期 当初 計画	2期 実施 状況	備考
18	親子事業	年数回	地域内の子どもたちおよび 保護者間の交流を深める	△	△	○	○	門松づくり等 鴨池小学校PTA および 力の会を中心に企画運営
19	青少年健全育成大会	10月	地域で子どもを育てる気風を 醸成する	○	△	△	△	開催内容は年度毎に検討
20	青少年健全育成委員会	年数回	地域で子どもを育てる気風を 醸成する	○	○	○	○	青少年育成に関わる団体 の長を中心に構成 活動内容は年度ごとに協議
21	夢プロジェクト 実行委員会	随時	子どもたちのために地域が 出来ることを考え実践する	―	○	○	○	リサイクル活動 黄色いレシートキャン ペーンなど
22	立志のつどい	2月	中学2年生の成長を祝う	○	○	○	○	鴨池中父親セミナーを 中心に実施

福祉部会

○ = 実施 △ = 実施を検討 ― = 実施せず

番号	事業名	実施時間	事業内容 (期待される効果を一部含む)	1期 当初 計画	1期 実施 状況	2期 当初 計画	2期 実施 状況	備考
23	地域福祉部会	年数回	民生員を中心に福祉団体との連携と相互理解を深める	○	○	○	○	民生員を中心に福祉団体との連携と相互理解を深める
24	みんサポかもいけ支援	随時	地域在住の高齢者の日常生活を支援する	―	○	○	○	地域在住の高齢者の日常生活を支援する

外部連携部会

○ = 実施 △ = 実施を検討 ― = 実施せず

番号	事業名	実施時間	事業内容 (期待される効果を一部含む)	1期 当初 計画	1期 実施 状況	2期 当初 計画	2期 実施 状況	備考
25	近隣団体等との連携	随時	地域住民と近隣の企業・団体を結ぶ窓口になる	○	○	○	○	今村総合病院との連携 臨港道路関連の調整など
26	福祉研修委員会	年数回	福祉に関する知識と深め、協議会による福祉サービスの在り方を検討する	―	○	○	○	コミュニティバス運行を検討中

縦軸(各部会別)の活動計画

子育て世代

○ = 実施 △ = 実施を検討 ― = 実施せず

番号	事業名	実施時間	事業内容 (期待される効果を一部含む)	1期 当初 計画	1期 実施 状況	2期 当初 計画	2期 実施 状況	備考
27	世代別交流事業	年数回	子育て世代の地域住民間の交流を深める	―	―	○	○	地域の幼稚園・小学校・中学校の保護者による合同懇親会／共同イベントの開催など

責任世代

28	世代別交流事業	年数回	責任世代の地域住民間の交流を深める	―	―	○	○	地域イベントの企画開催／大人の学び直し勉強会の開催など
----	---------	-----	-------------------	---	---	---	---	-----------------------------

シニア世代

29	世代別交流事業	年数回	シニア世代の地域住民間の交流を深める	―	―	○	○	シニア懇談会／グラウンド大会やカラオケ大会といったシニア向けイベントの開催など
----	---------	-----	--------------------	---	---	---	---	---

全世代

30	世代別交流事業	年数回	世代を超えた地域住民間の交流を深める	―	―	―	○	鴨池校区大懇親会／全世代向けイベント開催に向けた意見交換会など
----	---------	-----	--------------------	---	---	---	---	---------------------------------

資料

- 1 鴨池校区まちづくりアンケート結果と考察
- 2 策定までの経過
- 3 地域コミュニティプラン策定委員会
- 4 鴨池校区コミュニティ協議会ホームページのご紹介

1

第1回プラン策定に対するアンケート結果

アンケートについては、鴨池小PTA、真砂本町、真砂町各町内会、鴨池新町管理組合、その他構成団体有志に調査依頼を行いました。

シニア	責任	子育て	各世代定義
			シニア世代…60歳以上 / 責任世代…40代後半以上60歳未満 子育て世代…中学生までのこどもがいる方(年齢は問わない)
①「住民みんなが主体的(自助)に取り組むまちづくり」について			
			主体的に活動する姿は露見されるが住民皆とは言い難い。
			各運営方針の活動内容は各部会がしっかりと計画し、年間事業も確実に実行して十分な成果をあげていると思います。
			みんサポかもいけについては、小さい動きだが、自主的にできているいい活動。ふるさとの活性化に貢献している。
			設立以前からすると、主体的な取り組みは、実践できている。
			様々な行事に多くの住民が進んで協力しているが、この協力体制を災害訓練などに生かせるとう良い。
			参加者数が増加したものの、依然として自主的な参加が望まれる状況にあると思うので改善していきたいと思います。
			地域活動に積極的に取り組む家庭とそうでない家庭の温度差が感じられる。楽しく取り組み、参加できる仕組みづくりが必要だと思う。
			LLかもいけなど広報をしてはいるが、その配布数からの割合でいくと参加者数は少ない。参加したい、してみたいと思える活動にしなければとは感じる
②「文化的で豊かな個性のまちづくり」について			
			文化的な面は見られるが個性特有の多様性には今ひとつ。
			各運営方針の活動内容は各部会がしっかりと計画し、年間事業も確実に実行して十分な成果をあげていると思います。
			地域の人材に出会いがあり、人材の発掘につながる活動ができている。
			校区文化祭は縮小気味なので文化的な活動は積極的には行なわれなかった。
			他の地域に比べて比較的若い町ではあるが、その中でも軍事施設や空港があったことなどを含めてこの町の成り立ちを地域のみinnで共有していくことも必要である。
			例年の継続事業を続けるなかで、今の時代に合った新たな取り組みも行っていると思います。今後も昔からあるものと新しいものを組み合わせた活動がもっと出来ればと思います。
			もっと積極的な異文化活動が必要。
③「構成団体と連携・協力(共助)するまちづくり」について			
			令和2年度からの比較では新団体の入会もあり連携・協力度は増している。
			各運営方針の活動内容は各部会がしっかりと計画し、年間事業も確実に実行して十分な成果をあげていると思います。
			社会教育の自主学習グループなどの連携が進んだ。コミュニティ活動の連携にいいきっかけになった。
			(公財)慈愛会今村総合病院との包括連携や構成団体の理解など連携協力は進んでいる。

			今年度から各構成団体に改めて加入申請書の提出を求めていく作業を進めるので、こういった活動が各構成団体にコミュニティの一員であることの啓蒙活動につながるのではと思う。また、各構成団体と意見交換の場を設け、どのような連携や協力体制が構築できるのか模索していく。
			いまだに連携の取れていない町内会や協同組合が存在するので、今後はこれらの団体がコミュニティに積極的に参加できるよう、積極的に声掛けを行い、連携を深めていくことができればよいと思う。
			よい取り組みがなされていた。
			講座内容によって、幼稚園、小学校、中学校に案内文を配布してもらっている。小学校からの案内で講座を知った方が参加することもある。

④ 「町内会100%加入のまちづくり」について

			加入促進を図ってきたが令和2年度との比較では加入率のダウンとなっている。高齢化、若い世代の未加入、一人住まい(1Kマンション)無関心。
			町内会の加入については何の成果も感じられない。逆に加入率は下がっています。コミュニティ協議会のホームページやL.L.等にて加入促進を促す対策がほしい。また、構成団体の位置図を掲載してはどうか
			現在、真砂本町が未加入です。何とか加入の話し合いを進めていただきたい。
			個々の出会いがあるような自治組織作りが大切。住民としての良さを体感できる交流の機会が必要。各自治組織を超えた個々のつながりから、自治組織間の繋がりに発展するといいい。ふるさとづくりに繋げるべき。
			真砂町、真砂本町では、進んでいない。鴨池新町は、もともと管理組合が町内会と同じ役割を果たしている。
			3つの地域の中でも、真砂町、真砂本町は新規加入は少ないかもしれないが、以前より町内会の存在自体は住民に十分周知されていると思う。ただ、鴨池新町についてはそのほとんどがマンション群であり、町内会という意識より、管理組合がすべてであり、そのマンションについての自治意識は高いが、町という概念への思い薄いように感じられるのでその意識をどうしていくかが課題かと思われる。
			現状がはっきりわからないのでなんとも言えませんが、効果的な情報の共有や活動内容の充実を通じて、自然な形で加入促進を目指すことが大切だと思います。
			コミュニティの広報誌などで、町内会の加入促進をもっと行っていかなければならないと思う。

⑤ 「プラン（地域振興計画）を基にしたまちづくり」について

			地域振興には商店街の活気・生気が求められるが世代交代の問題があり進んでない。若手経営者による魅力ある店舗づくりが必要かも。
			各運営方針の活動内容は各部会がしっかりと計画し、年間事業も確実に実行して十分な成果をあげていると思います。 慈愛会今村病院との包括連携協定を締結したことは非常に大きいと思います。
			まちづくりについて夢を語る場があるといい。行政に伝えられることも大切。最終的には、行政に提言できるまでであるといい。
			各事業においてプランに照らし合わせることができていない。
			プラン(地域振興計画)について、定例会などで再確認をし、それに即した活動ができているかどうかの協議も定期的に必要な。

⑥ 「相互理解(絆)を深めるまちづくり」について

			シニアゾーン・現役ゾーン・ジュニアZ世代の相互交流がポイントでは。
			各運営方針の活動内容は各部会がしっかりと計画し、年間事業も確実に実行して十分な成果をあげていると思います。

		個々の関係が自然体でできることが大切。直接、話をするなど人と人のふれあい、相手に対する関心が大切。(人への尊厳、関心など)
		色々な意味で相互理解は進んでいる。
		世代ごとにそれぞれの思いがあるので、無理にその溝を埋める必要はないが、地域の核となる人物たちがその調整役となり、少ない行事でもいいので、その中で各世代が親交を深めていくこと重要かと思われる。
		地域社会での交流を深めるために、さまざまなイベントを企画して交流の場をつくるといいと思います。
		よい取り組みがなされていた。
		老若男女同じ講座を通して交流する機会があるので、新たな発見など生まれていると思う

協議会全体の運営方針について

		運営していく中でどうしても仕事量が数人の方に片寄りバランスが悪い。スタッフの全体的な数の問題もあるが負担の平均性を望む。
		今後の課題は真砂本町の参画と協力してを得ること、また若手人材の確保を進めてほしい。鴨池新町の未加入団体の参加を進めてほしい。
		老・壮・青が自主的に取組める連携組織(コミュニティ協議会)の活動は、現状では概ね実行されている。
		環境問題に対する取り組みが足りない。平和に関する取り組みが大切。人材育成が大切。戦後80年を語り継ぐことが大切。
		改めて組織全般を見直すときが来ていると思います。現在の社会状況や5年後予想される状況を考慮して再考すべきです。運営方針は、継続してさらに掘り下げてもいいと思う。
		まだまだ世代間や地元住民であるかないかによって地域への意識の格差はあるかと思うのでどうやって折り合いをつけていくか、地域はどういった方向性であるべきかを今一度みんなで協議できる場があればいいと思う。
		素晴らしいと思う。
		目的があまりわからないまま、ベテランの人たちによって会議が進んでいったイメージがある。

まちづくり部会

		<ul style="list-style-type: none"> ●基本方針【地域住民の自助共助による活力あるまちづくり】に沿って活動できたと思いますか？ …… 思う <ul style="list-style-type: none"> →いろいろなイベントへの参加者数が増加したものの、依然として自主的な参加が望まれる状況にあると思うので改善していきたいと思います。 ●課題【地域リーダーの引き継ぎに課題がある】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… 感じる ●課題【ゴミ捨てなどの地域マナーについての共通認識に欠ける】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… どちらでもない ●課題解決のために行った具体的な活動 <ul style="list-style-type: none"> →(プランを知らなかったので課題解決策として行ったのではないが)活動参加へ声掛けなどの取組みを行った。 ●活動の結果【町内会の加入を増やす】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 3 ●活動の結果【若いリーダーを育てる】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 3 ●活動の結果【事業を通じて相互理解を深める】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 5 ●活動の結果【地域活動への参加を増やす】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 5 ●活動の結果【まちづくりへの関心を持たせる】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 5
--	--	--

福祉部会

		●基本方針【住民みんながやさしさや思いやりで支えあえるまちづくり】に沿って活動できたと思いますか？ …… 思う
--	--	---

- 課題【高齢者の語らいの場が少ない】について、変化があった・改善されたと感じますか？
………… どちらでもない
- 課題【子育てに不安を覚えている】について、変化があった・改善されたと感じますか？
………… あまり感じない
- 課題解決のために行った具体的な活動
→民生委員の活動とリンクしている関係で、間接的に活動していると思います。
- 活動の結果【地域ぐるみの見守り体制づくり】はどのくらい実行・達成されたか
………… (10段階中) 5
- 活動の結果【異世代の交流を図り、生きがいづくりの機会を創出する】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 5
- 活動の結果【子育ての悩みを交換できる場、機会を創出する】はどのくらい実行・達成されたか
………… (10段階中) 5

社会教育部会

- 基本方針【住民みんながつどい、学ぶ楽しさを実施できるまちづくり】に沿って活動できたと思いますか？ …… 思う
→社会教育講座の各講座のテーマでは、社会状況を見て住民むけのテーマを決めていた。大きな観点での優しさや思いやりの講座では考えていた。
- 部会の基本方針についての意見
→校区外の講師が多かった。今後は、校区内の講師発掘が必要。人材発掘に取り組みたい。
- 課題【社会教育学級の運営の認知度が低い】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… 感じる
- 課題【社会教育学級運営リーダーの引き継ぎに課題がある】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… あまり感じない
- 課題【社会教育は社会環境の変化とともに運営する必要がある】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… とても感じる
- 課題解決のために行った具体的な活動
→社会教育の人材は、アンテナを張って人材の掘り起こしは行なった。
- 活動の結果【広報活動を推進する】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 4
- 活動の結果【若い社会教育リーダーを育てる】はどのくらい実行・達成されたか
………… (10段階中) 3
- 活動の結果【小中学校と部会との連携を密にする】はどのくらい実行・達成されたか
………… (10段階中) 5

社会教育部会

- 基本方針【住民みんながつどい、学ぶ楽しさを実施できるまちづくり】に沿って活動できたと思いますか？ …… あまり思わない
→みんなが集うわけではなく、身内が集っているように感じる。しかし、学ぶ楽しさは毎月それぞれの学級で幅広い講座を開いているので、あると思う。
- 部会の基本方針についての意見
→校区外の講師が多かった。今後は、校区内の講師発掘が必要。人材発掘に取り組みたい。
- 課題【社会教育学級の運営の認知度が低い】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… 感じる
- 課題【社会教育学級運営リーダーの引き継ぎに課題がある】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… どちらでもない
- 課題【社会教育は社会環境の変化とともに運営する必要がある】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… 感じる
- 課題解決のために行った具体的な活動
→広報活動→LLかもいけでの案内のほかにプティエコは、児童便、LINEグループでの告知などをおこなった。それにより、講座の内容によっては参加者が多いものもあった。
- 活動の結果【広報活動を推進する】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 6
- 活動の結果【若い社会教育リーダーを育てる】はどのくらい実行・達成されたか
………… (10段階中) 2
- 活動の結果【小中学校と部会との連携を密にする】はどのくらい実行・達成されたか
………… (10段階中) 5

青年部会

- 基本方針【子どもたちを支えていくため様々な活動により住民同士の絆を深め横のつながりを実感できるまちづくり】に沿って活動できたと思いますか？ …… あまり思わない
→青年部会を中心とした取り組みとしては、あまり活動ができなかった。
- 課題【保護者世代を中心に縦と横の世代間交流が希薄である】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… どちらでもない
- 課題【保護者世代が地域活動に関わるきっかけづくりが少ない】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… あまり感じない
- 課題【若手の地域に対する意識が希薄である】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… あまり感じない
- 課題解決のために行った具体的な活動 →かもなまつりへの参加
- 活動の結果【若手主役の地域活動を企画する】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 8
- 活動の結果【若いリーダーを育てる】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 5
- 活動の結果【事業を通じて相互理解を深める】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 8

広報部会

- 基本方針【地域の情報を共有することで、それぞれの活動への理解を深め、地域住民がお互いにもとめあうことができるまちづくり】に沿って活動できたと思いますか？ …… とても思う
→広報誌の継続発行は何より役割を果たしている。
- 部会の基本方針についての意見 →基本方針は、継続でいいと思います。
- 課題【地域で共有すべき情報が明確でない】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… 感じる
- 課題【地域活動の認知度が低い】について、変化があった・改善されたと感じますか？ …… とても感じる
- 課題解決のために行った具体的な活動 →広報誌の継続した定期発行
- 活動の結果【情報発信ツールを活用する】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 7
- 活動の結果【きめ細かい情報発信を行う】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 7
- 活動の結果【全世帯に情報が届くようにする】はどのくらい実行・達成されたか …… (10段階中) 7

運営委員会

- 委員会の具体的な活動内容
→鴨カムサタデー・リサイクル・成人学級・花植え・夏祭り・マップ作成・カモスク・イルミ飾り・餅つき大会・走り初め・文化祭・鴨中立志の集い・高齢者見守り・LLかもいけ配布・青パト等々
- 活動を顧みて良かった点・改善すべき点 →人手が足りないの一言。

まちづくり検討委員会

- 委員会の具体的な活動内容
→まちづくり検討委員会で臨港道路をテーマにした活動や(公財)今村総合病院との包括連携協定の締結を行なった。
- 活動を顧みて良かった点・改善すべき点 →他組織との相互理解は積極的に行なった。

青少年健全育成委員会

- 委員会の具体的な活動内容 →危険箇所マップ作成
- 活動を顧みて良かった点・改善すべき点
→熱心に意見を言っていただけのベテランがいる一方で、新入りは入りこみづらい雰囲気があったので、意見を言いやすいような委員会にしていきたい。

2 策定までの経過

月 日	内 容	備 考
5月20日(月)	第1回プラン策定委員会	アンケート実施
11月13日(木)	第2回プラン策定委員会	
11月29日(金)	第1期振り返り及び第2期に向けて希望調査	アンケート実施
1月17日(金)	第3回プラン策定委員会	
2月21日(金)	第4回プラン策定委員会	
3月14日(金)	第5回プラン策定委員会	
5月16日(金)	第6回プラン策定委員会	

3 地域コミュニティプラン策定委員会

	役 職	役員氏名
委員長	プラン策定委員会委員長	中崎啓文
副委員長	事務局長・広報部会長	立元耕史
委 員	会 長	久保浩司
委 員	会長代行(運営委員長)	中園賢一
委 員	副 会 長	朝 照雄
委 員	副会長(ブロック会長代表)	小松清明
委 員	真砂町ブロック長	田中忠重
委 員	鴨池新町Bブロック長	上田 喜八郎
委 員	青年部会長(力の会会長)	野嶋陽子
委 員	安心安全部会長	石塚幸三
委 員	まちづくり部会長	鳥居 勇
委 員	青少年育成部会長	石野孝典
委 員	福祉部会長	寺師恵子
委 員	社会教育部会長	有留莉沙
委 員	緊急時対策委員会委員長	岩屋幹夫
委 員	まちづくり検討委員会委員長	林 正博



鴨池の子どもが地域の主役



インフラ整備情報はこちら



インフラ整備情報はこちら



みんなのサポクラブ会員証画像をダウンロードして、支えあい活動支援にご活用ください

学び場（社会教育活動）はこちら



お困りごとのご相談はこちら



最新のお知らせはこちら



電話でのお尋ねはこちら



各部会からのお知らせはこちら



鴨池コミュニティ誌はこちら



関連団体情報はこちら



みんなのフォトギャラリー

鴨力のサタデー

ホームページの
アクセスはこちら!



鴨池校区コミュニティ協議会（事務局）

鹿児島市真砂本町59番28号
（鴨池校区公民館内）

TEL・FAX(099) 285-1522
E-mail kamoike.comm@gmail.com

